

議題2（委員会決裁事項（規則第3条第1号））

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和5年度実施対象校（案）及び大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（生野工業・東淀工業・泉尾工業）の募集停止時期（案）について

標記について、別紙のとおり方針を示し周知を行うことを決定する。その上で、様々な意見を踏まえ、令和5年11月の教育委員会会議において最終決定する。

令和5年8月28日

大阪府教育委員会

1 大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和5年度実施対象校（案）

（1）令和5年度の方針

令和5年度は、特色ある教育活動を他校に継承・発展させる機能統合による学校の再編整備、統合整備による新校の設置、工業系高校の教育内容の充実に着手する。

（2）機能統合により再編整備する学校

対象校 (所在地)	機能統合先となる学校 (所在地)	対象校 募集停止時期	機能統合 開始時期
にしのだこうか 西野田工科高校 (大阪市福島区)	いまみやこうか 今宮工科高校 (大阪市西成区)	令和7年度 入学者募集時	令和7年度から

（3）統合整備により新たな工業系高校として開校する学校

対象校 (所在地)	対象校 募集停止時期	新校募集 開始時期	使用校地
ふせこうか 布施工科高校 (東大阪市)	令和7年度 入学者募集時	令和7年度 入学者募集時	現城東工科高校 校地
じょうとうこうか 城東工科高校 (東大阪市)			

（4）対象校の選定理由

① 工業系高校の配置について

- 工業系高校の配置については、府内全域からの工業に関する学科への就学機会の確保の観点から、今後は工業に関する学科を設置する学校を平成18年度までの旧通学区域（9学区）を参考に9校（今年度公表の募集停止校及び工芸高校除く）とする。そのうち、3年連続して志願者が定員に満たない工業系高校については、工業に関する学科を維持しつつも、そのあり方を検討する。

② 機能統合による再編整備（西野田工科高校と今宮工科高校）

- 西野田工科高校（全日制の課程）は、明治 41 年に大阪府立職工学校として開校し、平成 17 年度より現在の工科高校へ改編した。平成 26 年度より実践的技能養成重点型校として、機械系、電気系のほか、建築都市工学系や府内唯一の工業デザイン系を設置しており、高い付加価値を生み出す技術・技能をもつ人材の育成に重点を置いた取組みを進めてきた。

また、工業デザイン系では、使い手である人間の視点を考慮したアイデアを心がけながら、生活空間や生活用具などを対象として、工業製品をはじめ量産されるものをデザインする知識や技術・技能を学習しており、建築都市工学系では、都市環境や住環境等につながる学習に取り組んでいる。

- 西野田工科高校（定時制の課程）は、明治 41 年に附属工業補習職工夜間学校として開設した。大正 12 年に府立西野田高等補習学校に改称、昭和 10 年に一度閉校したが、昭和 24 年に西野田工業高校定時制の課程として再開し、平成 17 年度より現在の工科高校定時制の課程へ改編した。総合学科で、4 年制コースと定通併修 3 年制コースを有し、「教養系列 暮らしの機械・電気系列 生活デザイン系列(建築・デザイン)」の 3 つの系列を設置している。

しかし、学校や関係者の尽力にもかかわらず、全日制の課程については中学校卒業者が減少する中、入学を志願する者が定員に満たない状況が続くとともに小規模化が進んでおり、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。また、定時制の課程においても著しく小規模化が進んでいる。

- 西野田工科高校から南東約 5.4 km に立地する今宮工科高校は、全日制の課程・定時制の課程を有している。全日制の課程は、大正 3 年に大阪府立職工学校の今宮分校として開校。大正 5 年に大阪府立今宮職工学校として独立し、平成 17 年度より現在の工科高校へ改編した。平成 26 年度より高大連携重点型校として工学系大学進学専科を設置のほか、府内唯一のグラフィックデザイン系を設置している。

グラフィックデザイン系では商業印刷物・ロゴ・Web などのデザインを学び、考える力や表現する力を身に付け、グラフィックデザインに関する基本的な知識、技術・技能を学習する取組みを進めている。

また、定時制の課程は、大正 7 年に大阪府立今宮職工学校の夜間部として創設し、昭和 13 年に大阪府立今宮第二職工学校、昭和 16 年に大阪府立今宮第二工業学校、昭和 23 年に大阪府立今宮工業高校定時制の課程への改編を経て、平成 17 年度より現在の工科高校定時制の課程へ改編した。総合学科で、4 年制コースと定通併修 3 年制コースを有し、「教養系列 機械系列 電気系列 建築系列」の 4 つの系列を設置している。

- 全日制の課程では、西野田工科高校の工業デザイン系を今宮工科高校のグラフィックデザイン系に継承・発展させる。定時制の課程では、西野田工科高校の「教養系列 暮らしの機械・電気系列 生活デザイン系列」を今宮工科高校の「教養系列 機械系列 電気系列 建築系列」に継承・発展させ、今宮工科高校の全日制の課程・定時制の課程の教育内容の充実を図る。

- 以上のように、西野田工科高校（全日制の課程）の特色ある取組みを今宮工科高校（全日制の課程）に、西野田工科高校（定時制の課程）の特色ある取組みを今宮工科高校（定時制の課程）に継承・発展させる機能統合を実施する。なお、西野田工科高校（定時制の課程）令和 6 年度入学者のうち 4 年制コースを希望する生徒については 4 年次は今宮工科高校の校地校舎において学ぶ。

《参考》

- ・入学者の状況

＜西野田工科高校（全日制の課程）＞

学科（課程）	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械・電気・ 建築都市工学・ 工業デザイン (全日制)	一般選抜	募集定員（人）	240	210	210	210	210	M41	375
		入学者数（人）	240	169	128	162	128		
	二次選抜	募集定員（人）	-	41	82	48	82		
		入学者数（人）	-	7	2	2	1		
	募集定員に満たない数（人）	-	34	80	46	81			

＜西野田工科高校（定時制の課程）＞

学科（課程）	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
総合学科 (定時制)	一般選抜	募集定員（人）	40	40	40	40	40	M41	21
		入学者数（人）	13	5	8	3	9		
	二次選抜	募集定員（人）	27	35	32	37	31		
		入学者数（人）	0	1	1	0	1		
	募集定員に満たない数（人）	27	34	31	37	30			

＜今宮工科高校（全日制の課程）＞

学科（課程）	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械・電気・建築・ グラフィックデザイン (全日制)	一般選抜	募集定員（人）	200	175	175	175	175	T3	554
		入学者数（人）	200	175	139	177	166		
	二次選抜	募集定員（人）	-	-	36	-	9		
		入学者数（人）	-	-	2	-	2		
	募集定員に満たない数（人）	-	-	34	-	7			
工学系 大学進学専科 (全日制)	一般選抜	募集定員（人）	40	35	35	35	35	T3	554
		入学者数（人）	40	35	35	31	35		
	二次選抜	募集定員（人）	-	-	-	4	-		
		入学者数（人）	-	-	-	1	-		
	募集定員に満たない数（人）	-	-	-	3	-			

＜今宮工科高校（定時制の課程）＞

学科（課程）	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
総合学科 (定時制)	一般選抜	募集定員（人）	40	40	40	40	40	T7	40
		入学者数（人）	25	19	9	7	8		
	二次選抜	募集定員（人）	15	21	31	33	32		
		入学者数（人）	1	1	0	0	1		
	募集定員に満たない数（人）	14	20	31	33	31			

③ 統合整備による新たな工業系高校の設置（布施工科高校と城東工科高校）

- ・ 布施工科高校は、昭和 14 年に関西初の航空工業学校として開校し、翌年に東大阪市に移転、平成 17 年度より現在の工科高校に改編した。平成 26 年度より地域産業連携重点型校として、実習や授業における企業連携を一層進め、長期の企業実習である「デュアルシステム」を導入するなど、ものづくりを支える人材の育成に重点を置いた取組みを進めてきた。

同校には、府内唯一である建築設備系を設置しており人の生活に不可欠な“住”に関することを学び、将来「建築技術者」や「設備技術者」として活躍する人材を育成している。

しかし、学校や関係者の尽力にもかかわらず、中学校卒業者が減少する中、同校では入学を志願する者が定員に満たない状況が続いており、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。

- ・ また、布施工科高校と同じ東大阪市に所在する城東工科高校は、昭和 4 年に大阪府立城東職工学校として開校し、平成 17 年度より現在の工科高校に改編した。平成 26 年度より地域産業連携重点型校として、「地域産業の担い手であると同時にグローバル社会にも対応できる人材を育成する教育活動を展開し、地域に信頼され、誇りとされる学校」を教育方針に、地域・企業との連携を推進してきた。

近隣の企業技術者から生徒が溶接技術などの直接指導を受ける機会を設けるとともに、校内起業「城工房」をつくるなど、技術者から技術・技能の継承につながる企業との連携に取り組んできた。しかし、布施工科高校と同様に中学校卒業者が減少する中、同校では入学を志願する者が定員に満たない状況が続いており、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。

- ・ 以上のことから、両校を再編整備の対象校とすることとし、再編整備の手法は、両校が進めてきた特色ある取組みを発展させる形で統合して新しい学校を設置する統合整備とし、もって教育内容の充実を図る。

新たな工業系高校は、現城東工科高校の校地校舎を使用し、校名については学校関係者の意向を踏まえて決定する。

《参考》

・入学者の状況

＜布施工科高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械・電気・ 建築設備	一般選抜	募集定員 (人)	280	245	210	210	S14	430	
		入学者数 (人)	246	224	166	146			158
	二次選抜	募集定員 (人)	34	21	44	64			52
		入学者数 (人)	7	2	4	0			4
	募集定員に満たない数 (人)	27	19	40	64	48			

＜城東工科高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械・電気・ メカトロニクス	一般選抜	募集定員 (人)	280	210	210	210	S4	439	
		入学者数 (人)	238	210	138	168			179
	二次選抜	募集定員 (人)	42	-	72	42			31
		入学者数 (人)	6	-	3	3			1
	募集定員に満たない数 (人)	36	-	69	39	30			

(5) 工業系高校の教育内容の充実

- ・ 「府立高等学校再編整備計画（令和5年度から令和9年度）」において、大阪府学校教育審議会答申「今後の工業系高等学校のあり方について（令和4年11月28日）」を踏まえ、中学校卒業生数減少期における適正な規模や配置の検討を行い、リソースを集中させることで、引き続き大阪の産業界を支える人材や、社会インフラを支える人材の輩出拠点となるよう取組みの充実を図ることとしている。
- ・ 上記を踏まえ、教育内容の充実方策として、以下のとおり、工業系高校における時代に即した基礎・基本への対応や工科高校における深化・接続コースの充実、工学系大学進学専科の拡充を進めることとする。

実施時期は、令和7年度入学者からとする。
- 時代に即した基礎・基本への対応については、これからのものづくり人材に必要とされるデジタル技術や先端技術（AI、IoT等）を取り入れた教育を工業系高校で実施する。

（対象校：淀川工科高校、都島工業高校、今宮工科高校、工芸高校、茨木工科高校、藤井寺工科高校、堺工科高校、佐野工科高校）
- 工科高校における深化コースは専門分野の学びの更なる深化のため主に専門科目を充実させ、接続コースは大学進学への更なる対応のため主に普通科目を充実させる。

（対象校：淀川工科高校、今宮工科高校、茨木工科高校、藤井寺工科高校、堺工科高校、佐野工科高校）
- 工学系大学進学専科については、堺工科高校に新たに工学系大学進学専科を設置する。

堺工科高校は、これまで隣接する堺泉北臨海工業地帯等に産業基盤を支える人材を輩出してきた。工学系大学進学専科を設置することで、今後、工学部を設置する大学等との連携を図り「ものづくりマインドを持った将来の高度技術者」の育成とともに、確かな知識と技術、実践的な技能を持つ人材の育成を担う拠点として、これまでの取組みを一層発展させることとする。

なお、今後、志願状況や学校の状況を見極めながら、工学系大学進学専科を設置していない工科高校への設置を検討する。
- ・ 生野工業高校・泉尾工業高校・東淀工業高校の再編整備により開設する新工業系高校（仮称）及び布施工科高校・城東工科高校の統合整備により設置する新校についても、時代に即した基礎・基本や大学進学に対応した教育を実施する。
- ・ 工業系高校のネットワーク化や企業等との連携の拡充について、工業系高校全体で取組みを推進していく。

2 大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備の対象校（生野工業高校・泉尾工業高校・東淀工業高校）の募集停止時期（案）

対象校 (所在地)	対象校 募集停止時期	新校募集 開始時期	使用校地
いくのこうぎょう 生野工業高校 (大阪市生野区)	令和7年度 入学者募集時	令和10年度 入学者募集時 (予定)	現東淀工業高校 校地
いずおこうぎょう 泉尾工業高校 (大阪市大正区)	新工業系高校（仮称） の開校年度 入学者募集時		
ひがしよどこうぎょう 東淀工業高校 (大阪市淀川区)	新工業系高校（仮称） の開校年度 入学者募集時		

- ・ 生野工業高校・泉尾工業高校・東淀工業高校のうち、小規模化が進んでいる生野工業高校を令和7年度に募集停止する。
- ・ 泉尾工業高校・東淀工業高校は新工業系高校（仮称）の開校（令和10年度予定）に合わせ募集停止予定。

《参考》

- ・ 入学者の状況

<生野工業高校>

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械/電気/ 電子機械	一般選抜	募集定員（人）	160	160	140	105	105	S15	144
		入学者数（人）	94	105	73	58	44		
	二次選抜	募集定員（人）	66	55	67	47	61		
		入学者数（人）	6	5	2	2	0		
	募集定員に満たない数（人）	60	50	65	45	61			

<泉尾工業高校>

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械/電気/工業化 学・セラミック/ ファッション工学	一般選抜	募集定員（人）	200	200	175	175	140	T10	278
		入学者数（人）	125	128	126	100	92		
	二次選抜	募集定員（人）	75	72	49	76	48		
		入学者数（人）	1	4	1	1	1		
	募集定員に満たない数（人）	74	68	48	75	47			

<東淀工業高校>

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (R5)	
		H31	R2	R3	R4	R5			
機械工学/電気工学 /理工学	一般選抜	募集定員（人）	200	200	175	140	140	S35	260
		入学者数（人）	113	112	96	100	74		
	二次選抜	募集定員（人）	87	88	79	40	66		
		入学者数（人）	3	4	1	3	2		
	募集定員に満たない数（人）	84	84	78	37	64			